

尚々今度市兵へ殿

御仕合能早々御目見へ

御帰り候、貴様儀御老仁

此方一入御なつかしく候

よしいかにもく尤

奉存候、拙者も年寄

今一度懸御目度と

存事候、不相替貴様

御同意ニ九右衛門殿と可得

御意候、御上り能時分

九右衛門殿御越可被成候

互ニ息災ニて如此書状

取替目出度候、先以

九右衛門殿近年ハ御仕合能

渡海之旨「」

弥打続御仕合も

よく候半と奉存候

委細ハ市兵殿御物語

可被成候、以上

五月廿一日之御札

村川市兵衛殿持参

致拝見候、先以其許

相替儀無之、貴様

被寄御年候得とも

弥御達者之由、目出

珍重候、被仰越御

紙面致承知候

最早御当地_{江者}

御越有之間鋪旨

於然_者存命之内

得御意間鋪_与一入

御床敷候、爰元別条

無之、四郎五郎父子

堅固_ニ被相勤候間

可御心易候、次我等儀_茂

無恙罷在候、猶期後
音時候、恐惶謹言

龜山勝左衛門

八月四日

□□（花押）

大屋瀨兵衛様

御報